

## 水稻



## 農作業メモ



水稲  
田代 好幸  
農畜産課  
0969-22-1105

## ◆ 令和8年産早期水稻について

令和8年産の早期水稻の準備が2月下旬より始まります。7年産については、気象状況の変化、高温障害等による品質低下はありました。収量はおおむね増収の地域がありました。

これからも、高温障害等による被害が想定されることから、堆肥や土壤改良資材(規格数量)を投入し、地力の改善を図りましょう。

\*作土を15cm以上確保するよう心掛けてください。

## ◆ 健苗の育成

種子は充実した、健全なものを使用しましょう。そのためには必ず種子選(比重選)を行ってください。(比重は水10リットルに塩2kg)

病害虫防除のために、種子消毒(エコホープDJ200倍液に24時間浸漬)と育苗箱の洗浄をしましょう。

早期水稻の育苗日数は25日程度ですので、田植え日から逆算して播種日を決定しましょう。2葉苗～2.5葉苗の場合の播種量は、乾穀で150g(催芽穀では180g)が基準となります。播種に最も適しているのは、ハト胸状態の時です。そのためには十分に浸種を行って、水の入れ替えと1回は攪拌して、水温が均一になるようにしましょう。

## ◆ 田植えまでの水田の管理

雑草及びジャンボタニシの密度低減には、冬場の耕起が最も効果的です。トラクターによる破碎を行うとともに、寒風にさらすことにより越冬する個体を減らすことができます。

元肥の散布時期について、元肥の散布から田植えまでの期間が空きすぎると、稻が育つ前に元肥成分が溶脱して生育不良となります。また、一発肥料の場合は肥料成分の溶出が早まり、本来効いてほしい時期に肥料が効かず登熟・充実不足となりますので、代かき直前に行いましょう。

地域で、学校で、ご家庭で、“手軽”にできる  
“本格的”な食農教育ツール  
第38回 バケツ稻づくりセット

申し込み受付中!

お米や農業の魅力を感じていただくため、JAグループがすすめる  
「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、実施しています。  
費用のご負担は送料のみです。 JAグループでの購入は送料負担なし。

先着順で  
21万セットを  
配布します。  
セットがなくなり次第、  
受け付けを終了します。



## バケツ稻づくりセット内容

①パケツ・主は用意しておけません。

## ②種もみ・肥料セット

施肥率の高い種もみと、稻の成長を  
促す肥料を同封

## ③バケツ稻づくりマニュアル

完結までわかりやすく説明方法が  
書いてあります

## ④お名前シール

児童の名札類、船形開始日を記入  
してパケツに貼付できます



## 受付開始日

\*※：JAグループ、学校・教育機関、  
公認団体、公認法人など

\* 令和8年1月9日(金)～

\*※：個人 → 令和8年3月2日(月)～

\*バケツ稻づくりセットは、令和8年3月2日(月)から  
販売を開始します。

## パソコン・スマートフォン等からお申し込み下さい。

\*電話・FAXでの申し込みは受け付けておりません。

詳しい内容、お申し込み方法、お問い合わせは右の  
二次元コードからご確認下さい。

## お申し込み先

バケツ稻づくり相談室または右の二次元コードからアクセスいただき「バケツ稻づくりセットのお申し込みフォーム」から申し込み情報を入力の上、送信してください。

①学校・団体・法人  
のお場合学校・団体用  
お申し込みフォーム

よりお申し込み

※送付は郵便にて、完全の  
形態(10手)での支払い  
が可能。

※最小申込申込額は10セット  
からで、発送まで10日程度  
かかる場合がございます。

②JA・JAグループ  
の場合JA・JAグループ用  
お申し込みフォーム

よりお申し込み

※省内の学校・団体からの申  
し込みをお取りまとめいた  
だき、フォームへ入力くだ  
さい。

## ③個人の場合

個人用  
お申し込みフォーム

よりお申し込み

※最大5セットまで、全国一律  
264円の送料をご負担い  
ただけます。

※送付は郵便にて、完全の  
形態(10手)での支払い  
が可能。

JAグループ  
バケツ稻づくり相談室 [baketsu@agrnews.co.jp](mailto:baketsu@agrnews.co.jp)

TEL:03-6281-5822 電話受付時間:午前10時～午後5時  
(火～日・祝日・年末年始を除く)

## JAグループの取り組み

みんなのよい食プロジェクトとは

JAグループがすすめる、  
心と体を支える食の大切  
さ、国産・地元産の豊か  
さ、それを生み出す農家の  
価値を伝え、国産・地元産と日本の農  
家のファンになっていただこうという運  
動です。

バケツ稻づくりセットには、子供たち  
に動作体験をもらうことで、農業を  
身近に考えるきっかけになってほしいと  
いう想いが込められています。

## 国消運動とは

「私たちの『國』で『消』費  
する食べものは、できるだ  
けこの『國』で生『農』する」  
というJAグループの考え方  
方です。

できるだけ国産のものを食べて農家  
さんを応援し、生産現場を支えること  
が、私たち自身の「食」を未来へつなげ  
ることと考えています。

\*主催：(一社)全国農業協同組合中央会 \*後援：文部科学省/農林水産省/全国都道府県農業委員会連合会/全国市町村農業委員会連合会/全国連合小学校農友会  
\*協賛：全農畜産業開拓助成会/全国肉品商業販賣組合連合会/森林中央会議会/(一社)畜の光協会/株式会社農業新聞社/全国農生産者協同組合連合会/(一社)全国農業技術協会/公財)米穀安定供給保証支那機構  
\*推薦：全國小学校理科研究協議会/全國小学校社会科研究協議会/全國小学校生徒科・総合的な学習科目研究協議会/日本理科教育協会/日本理化学協会/日本生物教育会

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ



## 果樹



## 2月・3月の柑橘園管理

## 1. 土づくり

良い作物は健全な土づくりから始まります。下記の表は10a当たりの目安量です。

表を参考に、資材を投入してください。

時 期	資 材 名	10a当たり	備 考
2~3月 (収穫後)	堆 肥	2,000 kg	完熟物
	客 土	4,000 kg	3cm以内
	ココナツツ ピート	20 袋以上	2キューピック 120ℓ / 11kg)
	土の恵み	12 袋以上	堆肥・ヤシガラの代わり

## 2. 葉面散布

まずは樹勢回復をし、その後花芽分化促進をしましょう。

目的	薬 剤 名	希釈倍数	備 考
樹勢回復	尿 素 又は ニュージューシーN14 又は神協スピリッツ	500 倍	収穫後3回程度集中散布
花芽分化 促進	ファーメント 又は ジューシーエース	500 倍	樹勢回復後3回程度散布



## 花卉



## スリップス(アザミウマ)について

今回は花き類で高温乾燥時に多発するスリップスについて紹介します。

①ミカンキイロアザミウマ(主に花・蕾に寄生)は、体長1.0～1.7mm。黄色黒褐色。

②ミナミキイロアザミウマ(主に葉に寄生)は、体長1.3mm前後。全体が黄色で羽の合わせ目が黒く筋状に見える。

## ○生理生態

卵～成虫までの期間は10～20日

成虫の寿命は30～40日

成虫の1匹の雌は150～300個を産卵し、1ヶ月後に300倍に増殖します。

蛹の時期が近づくと地表へ移動し、土中で蛹になります。休眠しないので、施設内では冬でも発生します。

施設では2月下旬から増加し始め、5～6月に最も活動に活動し、初夏～初秋に大量に増加します。成虫の飛翔能力は低く、自力で5m程度しか移動できません。

## ○被害の特徴

・新葉、新芽でひっかき傷に似た症状や茎の曲がりや葉の奇形が見られます。

芽の中に潜り込んでいるため、発見が難しくなります。

・展開葉に寄生した場合、加害部が白く光ったように見え、

## 3. 病害虫防除

対象 病害虫	品 種	農薬名	希釈倍数	備 考
ミカンハ ダニ	中晩柑	ハーベスト オイル	80倍	発芽 前
	温州		100倍	発芽 前
カイガラ ムシ	温州、中晩柑	アプロード 水和剤	1,000倍	発芽 前

※温州、中晩柑のかいよう病対策はICボルドー(66D)60倍又はムッシュボルドー(DF)500倍も使用可。

## 4. 施 肥

## ○通常タイプ

栽培 タイプ	肥料名	品種名	施肥 時期	10a 当たり
全	炭酸苦土石灰	全品種	2月 上旬	10袋
超省力化 (年1回)	新有機中晩柑 一発 (13-8-7-2)	河内晩柑・清見・ 甘夏・パール柑・ デコポン	2月 上旬	10袋
省力 タイプ	新アグリロング 28号 (12-8-8-2)	河内晩柑・清見・ 甘夏・パール柑・ デコポン	3月 上旬	5袋
全	硫マグエース	全品種	3月 中旬	2袋

※ (NPKM g) の成分量



## 果樹

白石 一斗  
下島営農指導センター  
080-1729-1633



## 花卉

竹川 慶剛  
上島営農指導センター  
080-1729-1637

周辺に小さく茶～黄色の虫が見られます。

・蕾に侵入した場合、特に色の濃い品種ではカスリ状の症状が現れます。

## ○防除対策

## &lt;耕種的防除&gt;

・施設内では、作付前に除草を行い、ハウスは閉め切り、次の作付けまで20日以上あけ、成虫を餓死させます。

・本種の発生した施設では土壤消毒を行い、蛹または成虫を死滅させます。

・株や苗で持ち込まれる場合が最も多く、株や苗を購入する場合は本種が寄生しているかどうか確認します。

・黄色、青色の粘着トラップで発生の有無を観察して、発生動向に十分注意します。

・木酢液を噴霧することで、スリップスを忌避する効果があります。

・砂糖を200倍～500倍に希釈し、有機リン剤を溶かして噴霧すると、新芽や蕾から這いだし、舐めて死滅します。

## &lt;薬剤防除&gt;

・薬剤防除については、お近くの営農センターまでお問い合わせください。